

初心を忘れないことの良さ

初心忘れるべからずという先人の言葉はいつになっても響く格言だと思います。

そしてそれは、私たちが色々な誘惑の渦巻くこの現代社会を生きてい
る中で最も忘れてしまいやすいものの一つが初心だからでしょう。

初心とは何でしょうか。

人によってそれはそれぞれ違うでしょう。

例えば、

“ぶれない心を持って〇〇を続ける”

“相手を大切にする気持ちを忘れない”

“自分の心身の健康に気を使い、正しい道徳を持って生きる”

というようなニュアンスだと思います。

共通しているのは、揺るぎない感じの清らかなものであることだと思います。

それには理由があります。

それは “いい加減で駄目なこと” を初心とする人などいないからです。

そういうことをなかなか実行できない自分だからこそ、初心というものを掲げるのでしょう。

初心の反対は欲望に手を出す自分の弱さといった感じでしょう。

しかし、それを守り続けるということが、とても難しい。
ではどうすれば守り続けることが出来るでしょうか？

．．．．という問題提起はしないことにします。

もはやそれはやるだけの話なので、理屈や方法論などないからです。

このエッセイで伝えたいのは、“初心を守り続けることの良さ”です。

体験版はここまでです